崖 響

第4号 2019/12/20発行
栃木県立足利高等学校
進路指導部

～燃えろ、熱くなれ足高健児！～

冬休みに向けて・・・

どう過ごす？

進路指導主事 栗原 秀之

令和元年も終わりに近づき、めっきりと冬らしくなってきました。インフルエンザという単語も学校内で聞こえてくるようになってきましたので、うがい、手洗い、睡眠等、体調管理をしっかりして下さい。また、冬休み中は宿題や3学期に行われるテストを念頭に、計画を立てて学習に取り組んで下さい。今まで苦手にしてきたものを克服するチャンスでもあります。さらに、年末年始、調子に乗って生活のリズムを崩さないように注意して下さい。

ところで、センター試験(1月18・19日)が近づいていますが、3年生対象に年末年始に学校開放が行われますので是非利用して下さい。また、「満点を狙う！センター古典演習」をはじめ、多くの教科で講座が開かれますので是非参加してください。現役生は試験当日の朝まで伸びられます。試験までの日数も少なくはなってきましたがまだまだこれからです。力を尽くしましょう。

今回は学年主任の先生方よりお言葉をいただきました。

3学年主任 伊東 先生 より 3年生に向けて

受験生諸君頑張ってますね！センターを目前に控えたこの時期は焦りが頂点に達する時期です。様々な不安が脳裏を過るでしょう。受験は団体戦と皆さんに言いました。この瞬間、仲間も苦悩しながら懸命に前に進もうとしています。不安に苛まれているのは君だけではないのです。思い出してください。対抗戦で劣勢の時その場に座り込んでしまった人はいません。負けまいと力を振り絞って動きました。受験も同じです。勝利(合格)目指して着実に進んでいきましょう。みんな一緒ですから！また、日頃からお世話になっている保護者に対して、足高で3年間努力してきた成果としてセンターの結果を客観的に見つめる義務が君たちにはあります。結果がどうあれ頑張った証が帰宅時の”頑張ってきたよ”の一言なのです。試験での合否は非常に大きな出来事ですが、人生はそこで終わりではありません。禍福は糾える縄の如し、いいことも必ずあります。少しの躓きに挫けず次へのスタートを切りましょう。泣いても笑っても、卒業まであと少しです。試験が全てではない、君たちの達成感が何よりの宝物なのです。学年掲示板に以前書いたこの言葉で締めくくりましょう。”歩みを止めるな！さあ、進むんだ！”(和訳しました。)

2学年主任 鈴木 先生 より 2年生に向けて

修学旅行・文化祭と大きい行事を無事終えましたが、共通テストに翻弄された1年間という印象が強いのではないのでしょうか。結局、全国の高校2年生が不安視していたことは導入が延期されました。とはいえ、進路講演会では「共通テストは9割方センター試験と変わらない」ということでしたし、変わる点については本校でも授業等で対応しているので、皆さんは安心して今の努力を続けてください。そのために冬休みにすること。①規則正しい生活(可能な限り授業がある日と同様の生活リズムを続け、体調管理に努める)、②進路研究(希望進路を決定できるよう、自分の興味関心を深く見つめる・考える)、③自主学习(1日8時間学習を目指し、定期テストや模試のやり直しを行い、苦手をつぶす)、以上の3点です。あと1年で全国50万人以上の人々との戦いになります。そのための準備を今からしていきましょう。皆さんはすでに受験生なんですからね。

1学年主任 戸倉川 先生 より 1年生に向けて

1年生の皆さん、まもなく2学期が終わろうとしています。11月進研模試や期末試験の結果はどうだったでしょうか。定期試験では誰かが上がれば必ず誰かが下がりますが、外部模試はそうではありません。足高生の11月進研平均偏差値は7月進研から0.9ポイント上昇しました。足高1年生全体としては、全国の進学校生徒より頑張っている結果です。ただし全員ではありません、これからスタートしなければならない生徒はまだ多いです。冬休みがスタートのチャンスです。「悲しい目をしたサーカスの象の話」知っていますか？子象の頃から鎖につながれた象は、鎖は切れないと考えています。でも大人になった象にとって、本当は鎖を切るのは簡単なことなんです。できないと思っているから切らないんです。どうせできないと思っていたら絶対にできません。やればできる！